

主な再生可能エネルギーの愛知県におけるポテンシャルと取組

太陽光発電

ポテンシャル

- 本県の年間日照時間は2,091.6時間で全国第7位(2010年値:気象庁データ)
- 本県の導入可能設備容量は、住宅用が548万kW、非住宅用(主に事業用)が230万kWの計778万kW(愛知県試算)

※ 2013年度末の住宅用太陽光発電設備の設置数:107,961基(全国第1位)

本県の取組

- 市町村と協調した住宅用太陽光発電施設の設置補助の実施(H15年度～)
- 県有施設への太陽光発電設備の設置
- 県有施設の屋根の太陽光発電事業者への貸し出し(H25年度～)
- 県有地を活用した民間事業者によるメガソーラー事業の実施
 - ・ たはら・ソーラーウインド共同事業への補助(H26.10運転開始)
 - ・ 木曾岬干拓地メガソーラー設置運営事業への県有地貸付
 - ・ 田原1区、4区におけるメガソーラー事業への県有地貸付



愛・地球博記念公園サイクリングステーション

小水力発電

ポテンシャル

- 基幹的な農業用水利施設の延長が2,467kmで全国第3位、農地面積に対する水路密度が全国第1位
- 本県の中小水力発電の導入可能設備容量は、河川部が14.2万kW、農業用水路が7.8万kWの計22万kW(賦存量の96%)(環境省ポテンシャル調査)

本県の取組

- 「農業用水利施設を活用した小水力等発電マスタープラン」を策定(H25年度)。小水力発電施設の導入可能候補地166箇所の総発電出力は約5,100kW
- 25地区(約2,300kW)において事業化または事業化に向けた取組を行っており(H26.10時点)、うち6地区において整備を完了(25地区のうち、県が事業主体となっているものは羽布ダムなど5地区)



農業用水を利用した小水力発電施設(新城市)

バイオマスエネルギー

ポテンシャル

- バイオマスエネルギーの利用可能量は、
 - ・ 一般廃棄物系生ごみが62.5万t/年(賦存量の75%)
 - ・ 下水汚泥が37.2万t/年(賦存量の77%)
 - ・ 家畜排せつ物が47.7万t/年(賦存量の19%)
 - ・ 木くずが4万t/年(賦存量の16%)
 - ・ 間伐材が5.7万t/年(賦存量の58%)(愛知県試算)

本県の取組

- 衣浦東部浄化センターにおいて、下水汚泥から下水汚泥燃料化物(炭化物)を製造し、中部電力碧南火力発電所において石炭と一緒に混焼(H24年度～)
- 豊川浄化センター及び矢作川浄化センターにおいて、下水汚泥をメタン発酵させることによりバイオガスを取り出し、エネルギー利用する取組を推進



衣浦東部浄化センター燃料化施設